



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 CGS ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 塩 田 聖 一
(コード：6 6 3 3 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理統括部長 小 島 利 幸
(TEL. 093-642-4511)

第 2 四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異
(2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	3,195	194	215	96	10.13 円
今回実績 (B)	2,883	81	125	31	3.31 円
増減額 (B-A)	△311	△113	△90	△64	
増減率 (%)	△9.8	△58.3	△42.0	△67.3	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 12 月期中間期)	2,250	195	226	191	20.18 円

2. 第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異の理由

当社グループ製品の主な利用先である自動車向け金型・部品製造業においては、中東情勢を起因とする石化由来原料の価格上昇および供給減少の影響により設備投資の抑制傾向が継続、製品販売が低調に推移しました。また金型製造事業においては、2025 年下期以降モデルチェンジの谷間と重なり受注が低調であったことに加え、米国政策の影響による EV（電気自動車）の需要減退を背景に大手自動車メーカーが EV 戦略の見直しを図ったことから進行中のプロジェクトが中止となり、収益に大きく影響しました。

これらの結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高 28 億 83 百万円、営業利益 81 百万円、経常利益 1 億 25 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益 31 百万円となり、それぞれ前回発表予想を下回りました。

※2026 年 12 月期の通期連結業績予想につきましては、EV 以外のサイクルが活発化してきたことに伴う CAD/CAM システムの需要増が見込まれること、また金型製造事業においても足元の受注動向が活発化していることを踏まえ、2026 年 2 月 13 日付「2025 年 12 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想を変更しておりません。

以 上